

目次

まえがき	iii
目次	vii
凡例	ix
参加者一覧	xi
はじめに	1
第1部 講演編	
<small>モダニティ</small> 近代と世界史の枠組み	3
日本史イデオロギー：変化の兆し	5
西洋史の深層：古典古代の位置づけ	7
中華イデオロギー：地域研究からの貢献	9
インド・東南アジア史：やっかいなイスラーム	11
近代：その構成要素	12
①三分法…12	
②都市…16	
③文明…17	
④知識…19	
⑤法の支配…22	
⑥ヒスバ hisba…25	
⑦公共性…26	
⑧情報・コミュニケーション…28	
⑨社会の組織原理・社会編成…28	
⑩社会契約…30	
⑪国際法…31	
板垣先生への質問	35
第2部 応答編	
板垣先生の応答	39
イスラーム自前のモダニティの構造…39	
イスラーム・ネットワークを壊すもの…42	
欧米中心主義と歴史…46	
社会契約と国民国家…50	
ジェンダー論：例外的な日本と西欧…51	
ギリシア原理主義とイスラーム原理主義…53	
タウヒードは「一神教」観念か…54	
近代に対する私的な問題意識：その史的構造	59
少年期と青年期…59	
大学生時代…61	
研究者時代…63	
振り返って…65	
これからの研究者たちへ…66	
学問とは見渡すこと…67	
戦争体験がもたらしたもの	69
若手研究者、新進研究者？	74
一般の反応	76
資料	83
文献一覧	89